

令和3年度 学校評価アンケート結果 考察

丹波市立竹田小学校

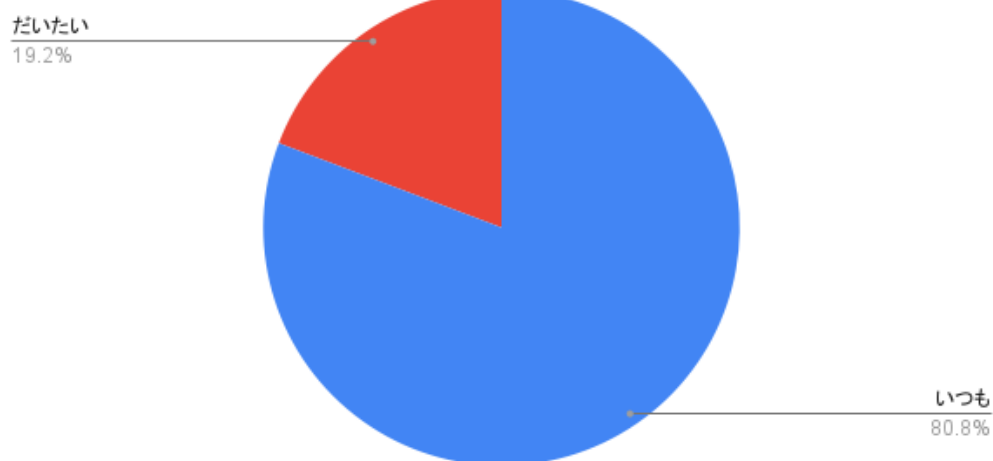
2022年1月31日

大寒の候、保護者・地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に温かいご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度は児童を対象として6月と11月に、保護者を対象として11月にアンケートを実施しました。この度、その結果がまとまりましたので、お知らせします。伸びが見られた項目については、子どもたちの更なる成長を願って取組を継続していきます。また、改善が必要な項目については、学校として重点的に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

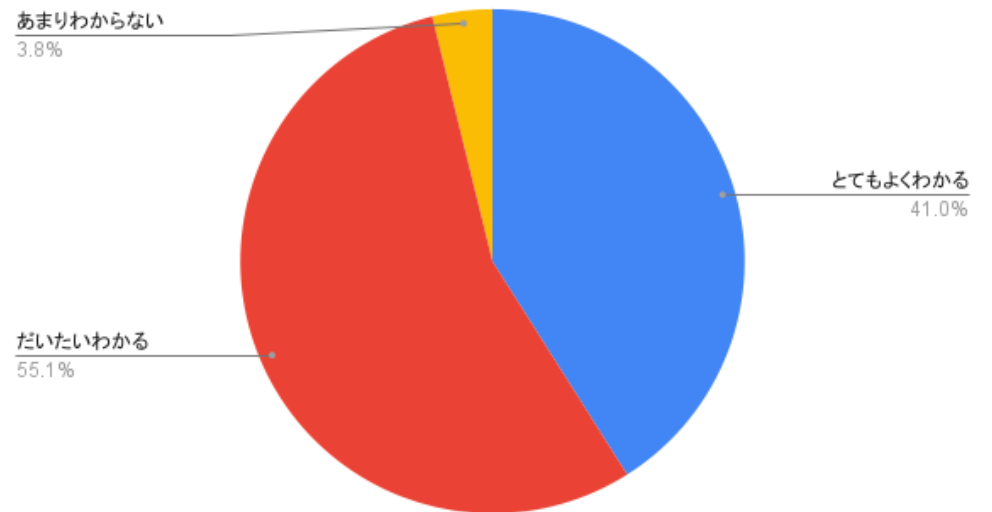
(ア)6月から11月にかけて、数値の上昇が見られたもの：「とてもあてはまる」「あてはまる」群が5%以上の上昇・95%以上のもの

(円グラフは11月の児童アンケート結果)

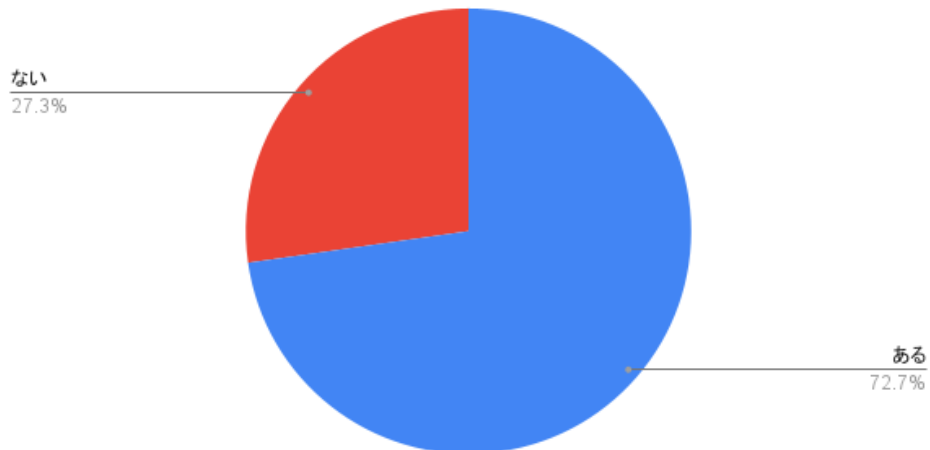
「3. ともだちの名前をよぶときに、「くん」「さん」「ちゃん」をつけてよんでいますか。」



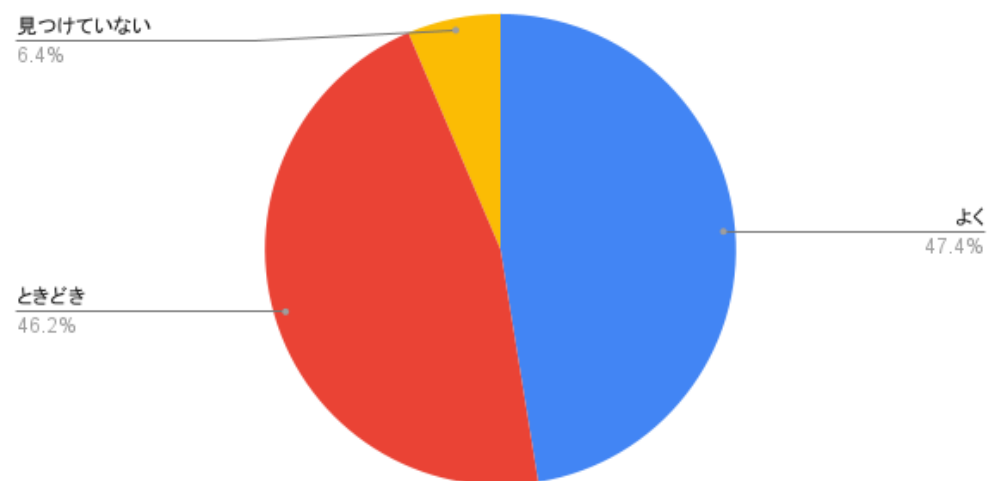
「7. 勉強はわかりますか。」



「12. テレビやゲーム、インターネットをする時間について、家でのきまりがありますか。」



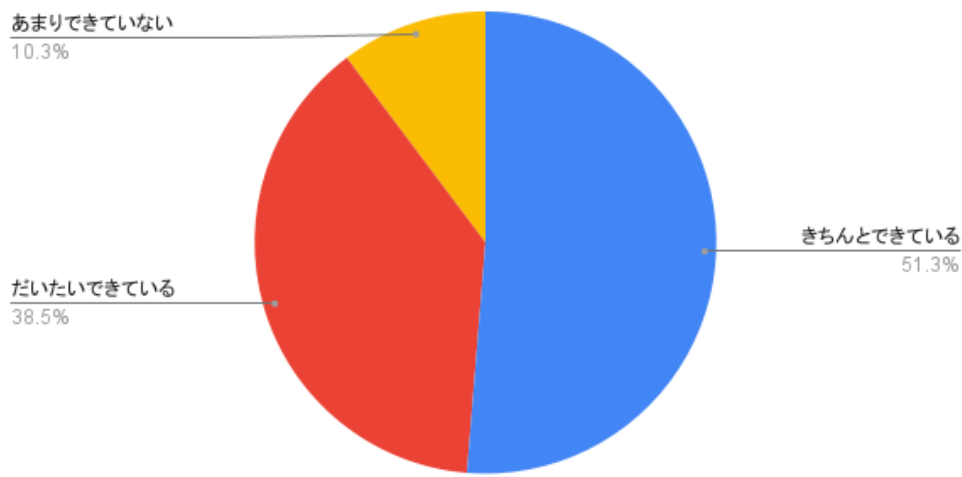
「14. ともだちのよいところを見つけて伝えていきますか。【直接本人に、かえりの会で、など】」



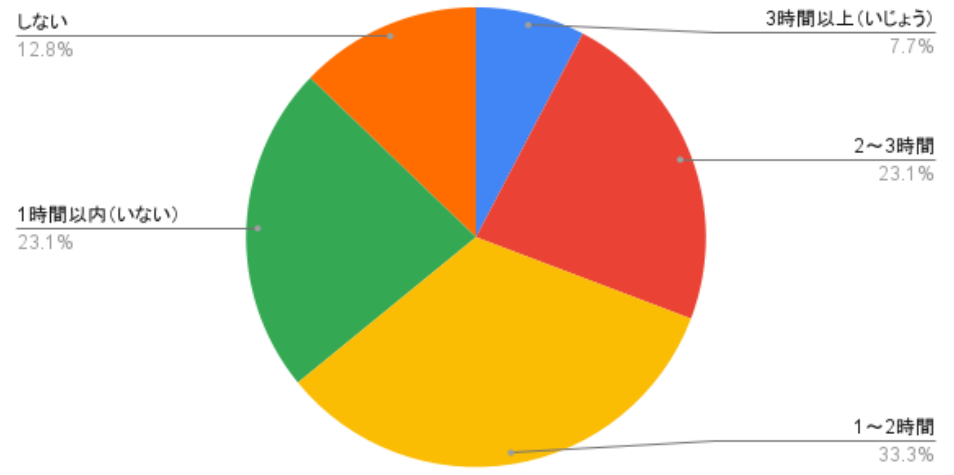
- ・本年度、「問14」の質問内容を、「見つけることができる」から「見つけて伝えている」にレベルを引き上げました。6月には71%と低下していますが、11月には94%と大幅な上昇が見られます。各クラスでの、終わりの会や学活をはじめとする日々の取組の成果と捉えています。人の良いところを見出せる力は、人との関係性を作るうえでとても大切です。今後も引き続き前向きに取り組めます。
- ・ゲーム、インターネット等に関するきまりがあるご家庭が増えてきていて、児童も意識して取り組んでいることが分かります。しかし、「平日はしない」「平日は3時間まで」「午後10時まで」「自分だけしか入れないパスワードをつけない」「ご飯のときはしない」等と、時間や内容にはバラつきが見られます。上手にメディアと付き合える児童の育成を目指しています。学校と家庭が一緒になっての取組に、今後ともご協力をお願いいたします。

(イ)6月から11月にかけて、数値の低下が見られたもの:「とてもあてはまる」「あてはまる」群に5%以上の低下が見られるもの

「4. 登下校はきちんとできていますか。【集合時刻・一列でおくれずに など】」



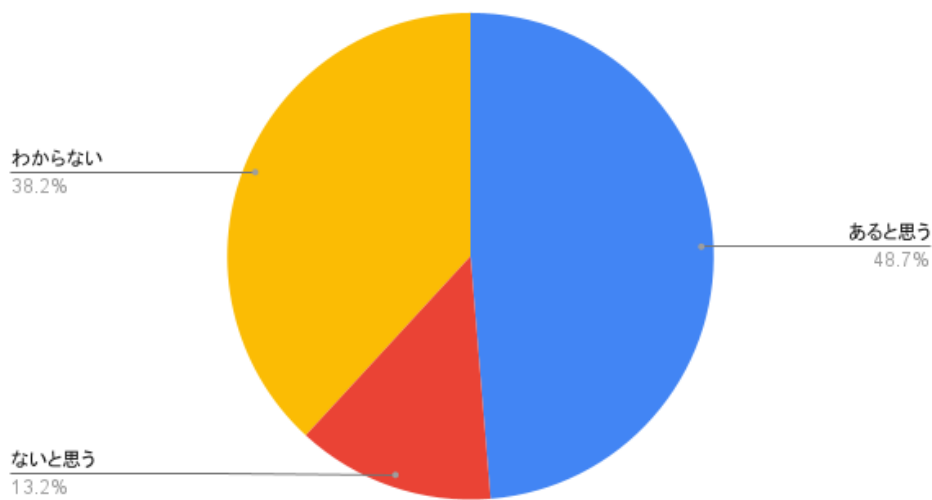
「10. 平日のゲーム機・スマホ・タブレット・パソコンなどについて、遊び【ゲーム、動画、ライン】には1日にどれくらい使っていますか。」



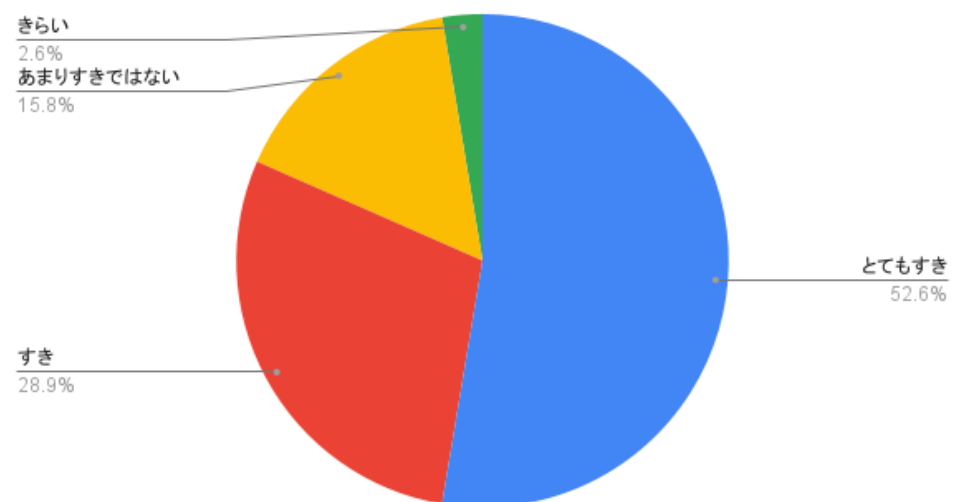
・「登下校」は、良好傾向ではありますが、5%以上の低下が見られます。命を守るという意識を高め、安全に気を付けた行動ができるよう、日頃の指導を一層充実させていきます。

・ゲーム、インターネット等の使用を平日2時間以上している割合が 24%→31%と増えています。日暮れの時間が早くなったことも関係するでしょうが、「家庭でのきまり」の内容や生活時間の使い方とも合わせ、見直していく必要があると考えています。《自立性・自主性の育成》

「13. 自分にはよいところがあると思いますか。」



「16. たてわり遊びなど、ほかの学年と遊ぶことは好きですか。」

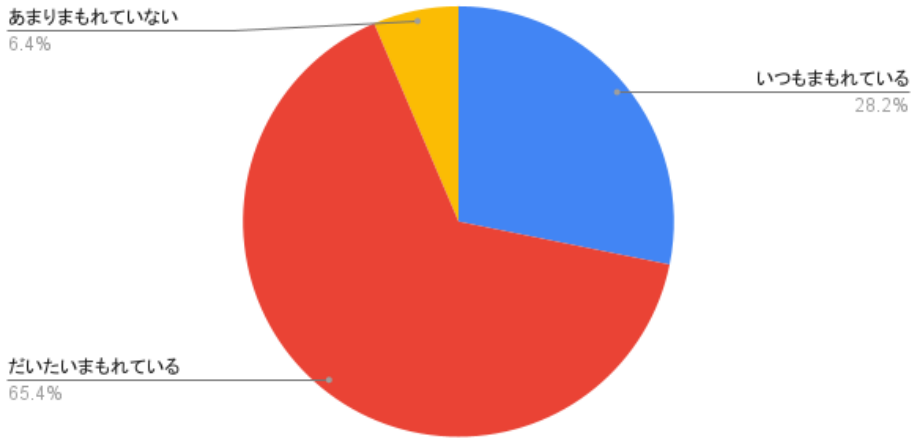


・「ある」の回答は5%減少しています。一方で、「わからない」が10%増加しており、自信の持てない様子が伺えます。
 ・自信を持って「ある」と言えるよう、児童の役割や活動の場を意識した取組を行っていきます。認められたりほめられたりすることにより、「自分のよさ」に気付けるように指導していきます。ご家庭においても、自信が持てるようにほめたり、励ましたりしてあげてください。

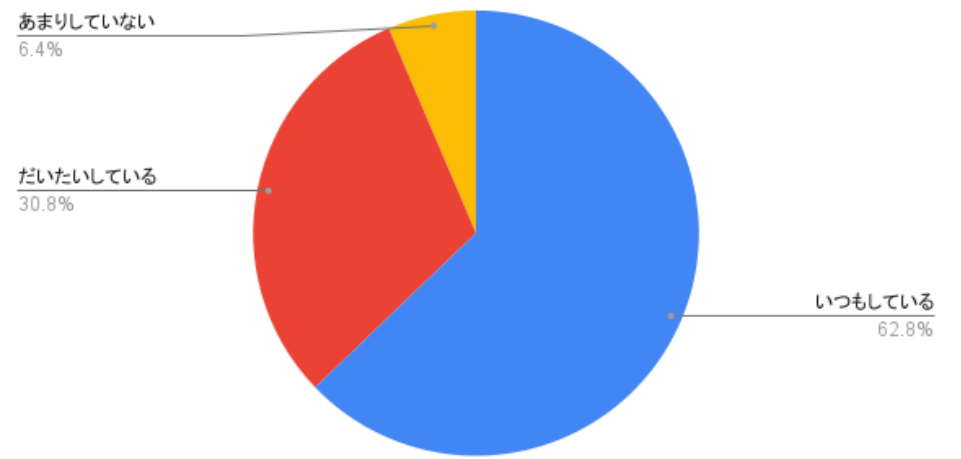
・低下の要因として、思い通りにできなかった、けんか等のトラブルがあった、といったことを思い浮かべたものかもしれません。縦割り班遊びや児童会遊びは、月1回、6年生が中心となって実施してくれているもので、異学年交流を促進するものです。こうした中、本校では、サッカー等の遊びでも、普段から異学年と一緒に遊ぶことができます。
 ・トラブルがあっても、それを解決しながら遊べるならば、何よりの教育機会となることでしょう。遊びは人間関係の構築においても大切な機会です。今後もこうした機会が有意義に持てるよう、日頃からの指導・支援に努めます。

(ウ)6月・11月ともに、良好であったもの:「とてもあてはまる」「あてはまる」群が90%以上のもの

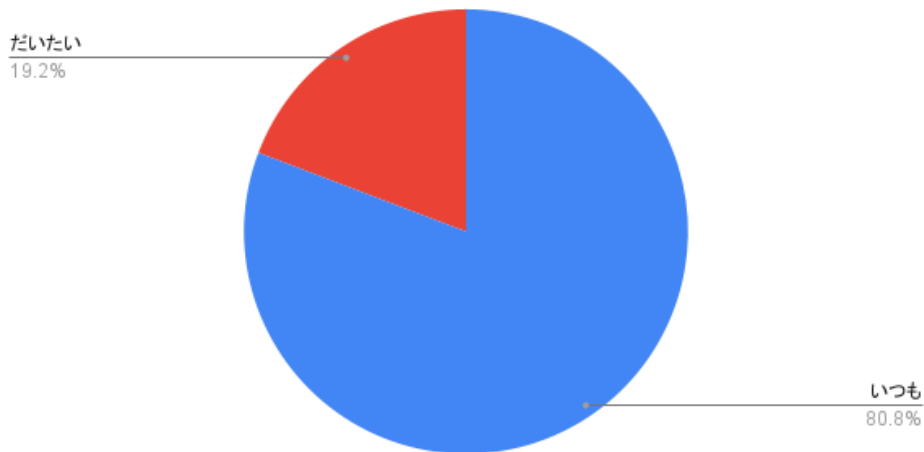
「1. 授業、掃除、下校の時など、5分前行動・3分前集合がまもられていますか。」



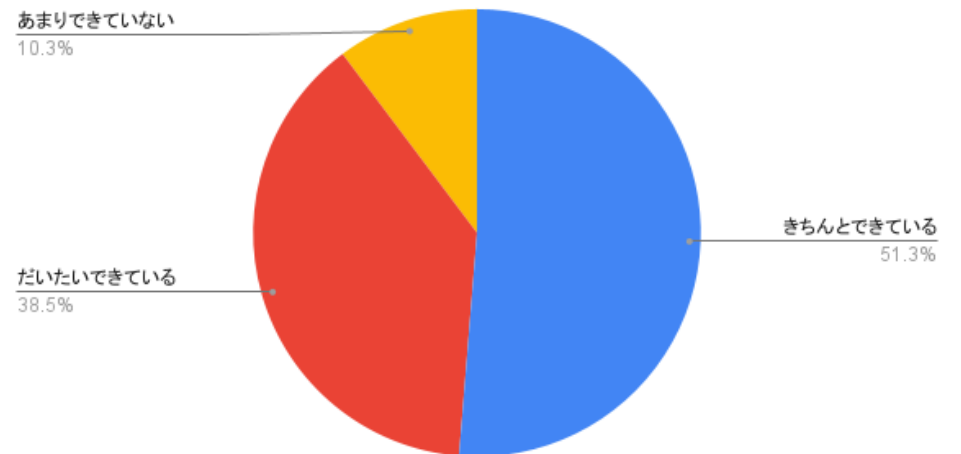
「2. 気持ちのよいあいさつをしていますか。【学校でも・家でも・地域でも】」



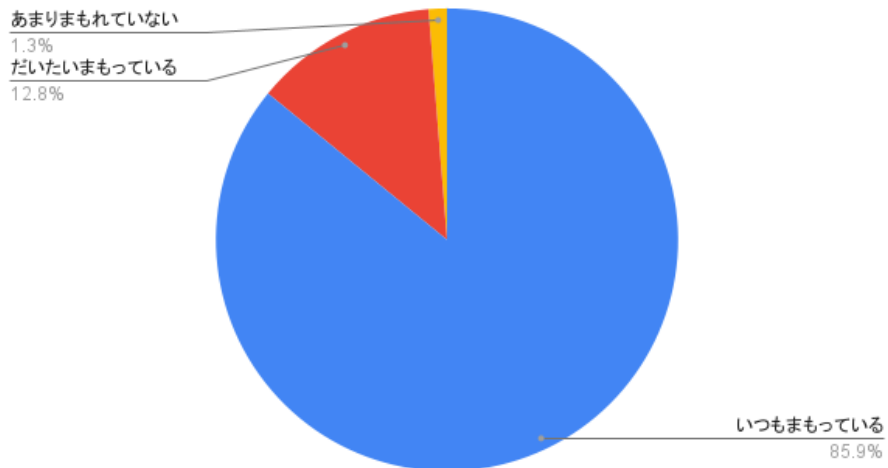
「3. ともだちの名前をよぶときに、「くん」「さん」「ちゃん」をつけてよんでいますか。」



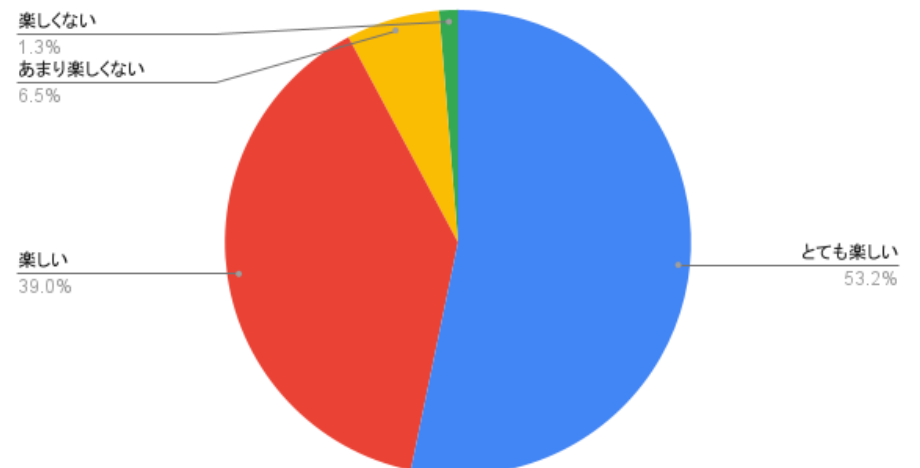
「4. 登下校はきちんとできていますか。【集合時刻・一列でおくれずに など】」



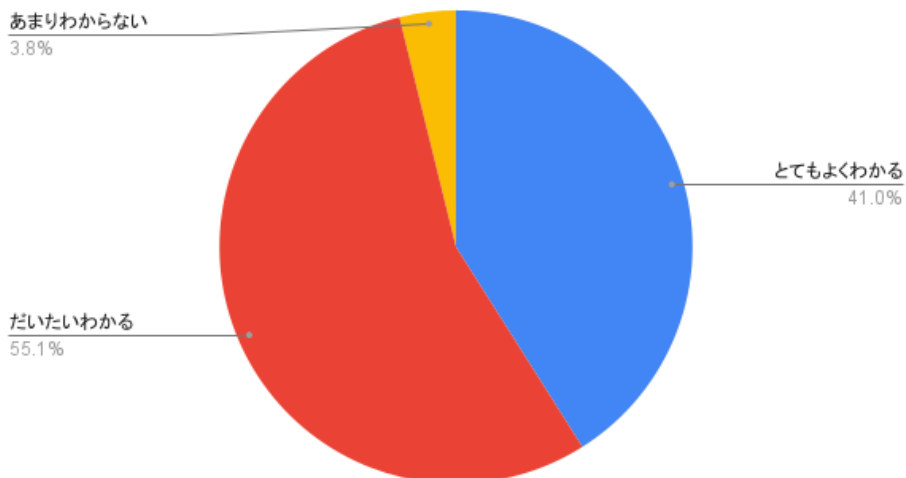
「5. 交通ルールや自転車ののり方のきまりをまもっていますか。」



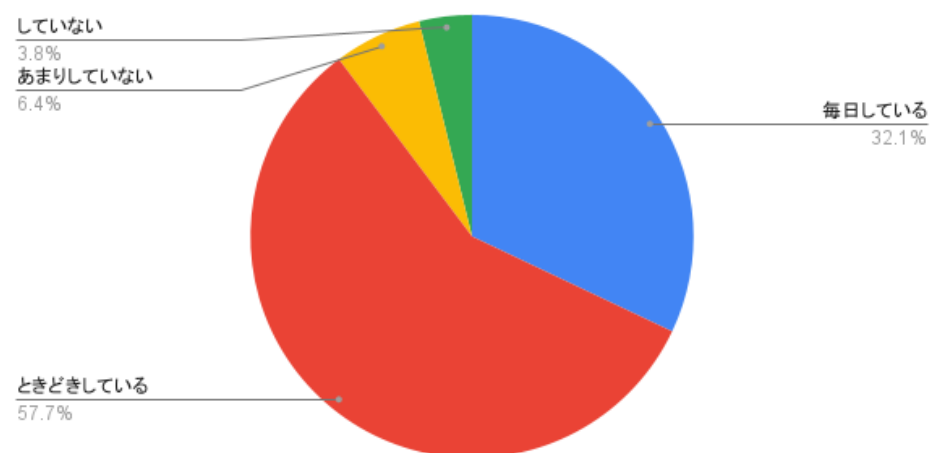
「6. 学校は楽しいですか。」



「7. 勉強はわかりますか。」



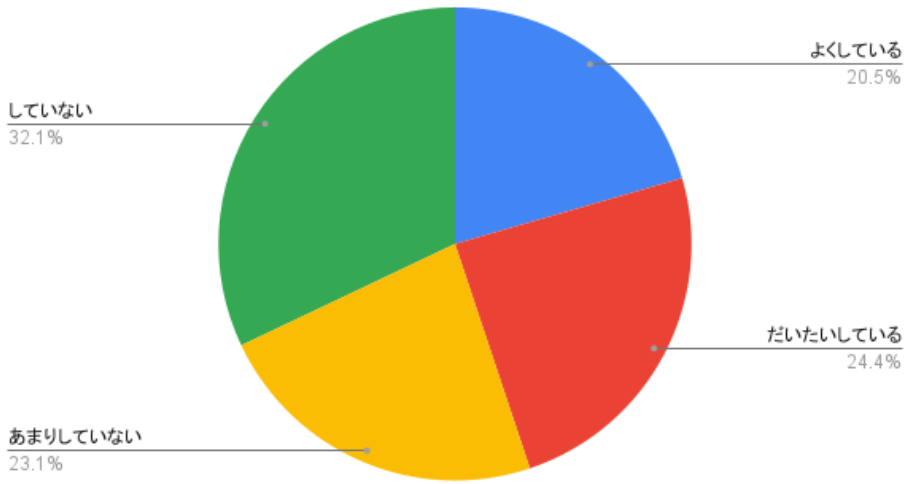
「15. 友だちや先生、おうちの人の手つだいをすすんでしていますか。」



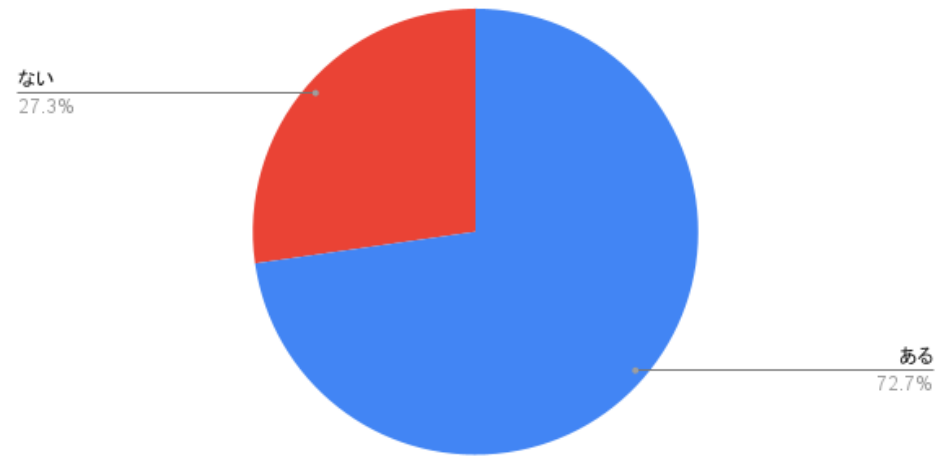
- ・上記の8項目は、6月・11月ともに良好な結果が見られたものです。
- ・特に「学習理解」については、95%と良好な結果が出ています。また、「学校は楽しいか」の問いに対しても、「勉強自体が楽しい」「みんなと一緒に勉強するのが楽しい」という記述が見られました。今後も、規範意識を育みながら、人と関わる喜びを味わえるような教育活動を実施していくと同時に、対話的な学びを大切にしながら、「わかる」「できる」授業づくりに取り組み、学ぶことや通うことが楽しいと感じられる竹田小学校となるよう、一層の努力をしてまいります。

(工)6月・11月ともに、良好とはいいい難いもの:「とてもあてはまる」「あてはまる」群が80%以下のもの

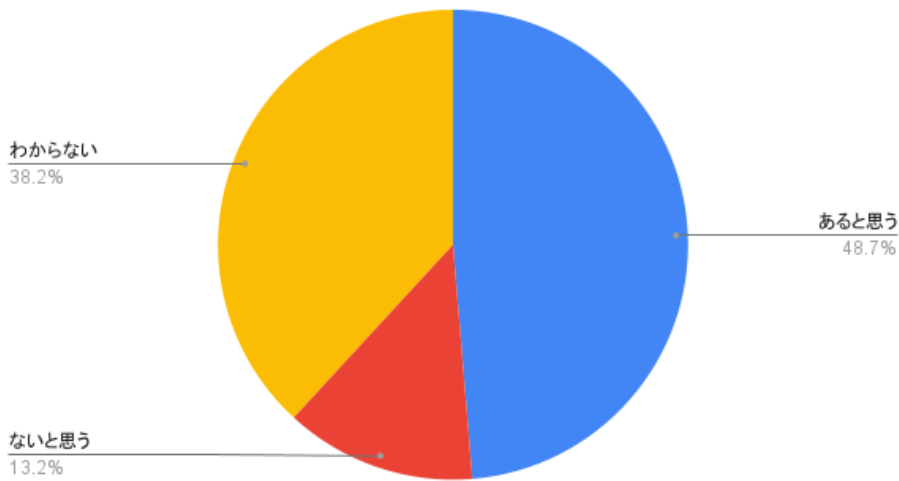
「9. 家で読書【まんがやざっしの本以外】をしていますか。」



「12. テレビやゲーム、インターネットをする時間について、家でのきまりがありますか。」



「13. 自分にはよいところがあると思いますか。」



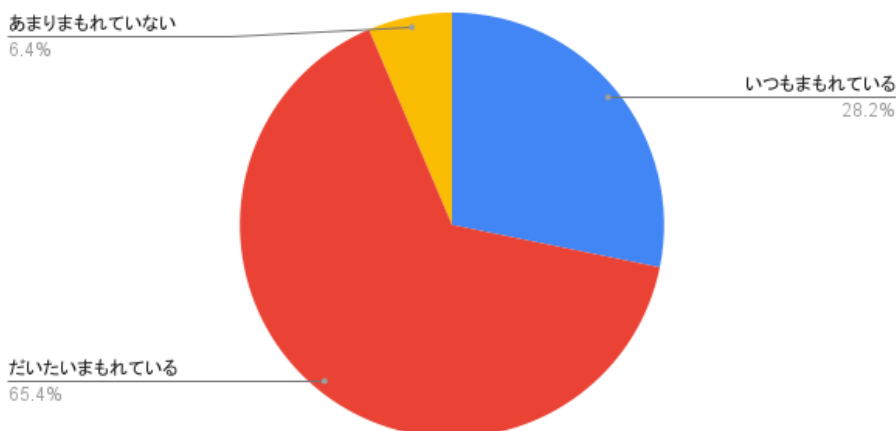
- ・3項目のうち、課題として例年上がってきている「家庭読書」に関して、昨年度より23%増加しました。ただし、今年度も、良好とはいいい難い結果です。学校では、朝読書の時間を設け、隙間時間にも読書をする姿がよく見受けられるようになってきており、読む習慣もついてきつつあります。しかし、家庭では32%の児童が「全く読まない」と回答しています。そこで、3学期から、図書貸し出しを一度に2冊までに増やすように改善しました。本をご家庭に持ち帰りやすくするためです。こうしたこともご活用いただき、声かけや読書のできる環境を整えていただければと思います。
- ・「問12」の項目は上昇しましたが、満足はできません。今後の情報社会の中を生きて行く我々には重点課題であり続けることでしょう。家庭と連携しつつ、環境を整えていく必要があります。
- ・「問13」の項目は、改善点として非常に重要度が高いと考えているものです。(2ページ目にも記載)

(オ)児童と保護者の間で回答に顕著な差が見受けられるもの: 5%以上の意識のズレが見受けられるもの

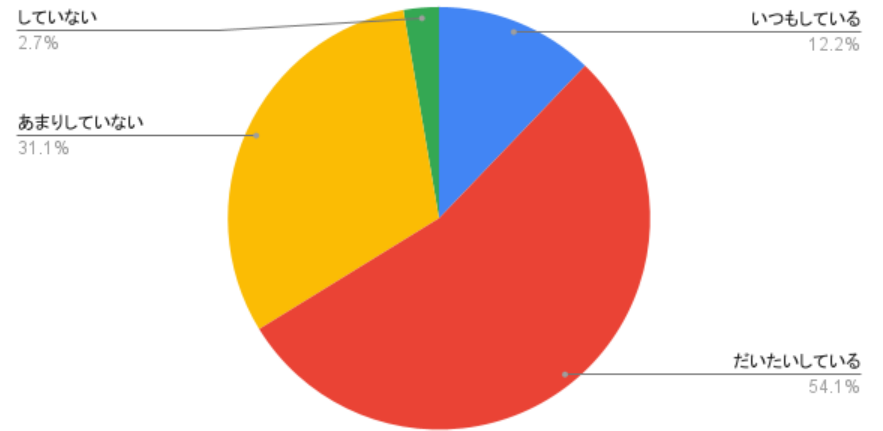
(児童回答)

(保護者回答)

「1. 授業、掃除、下校の時など、5分前行動・3分前集合がまもれていますか。」



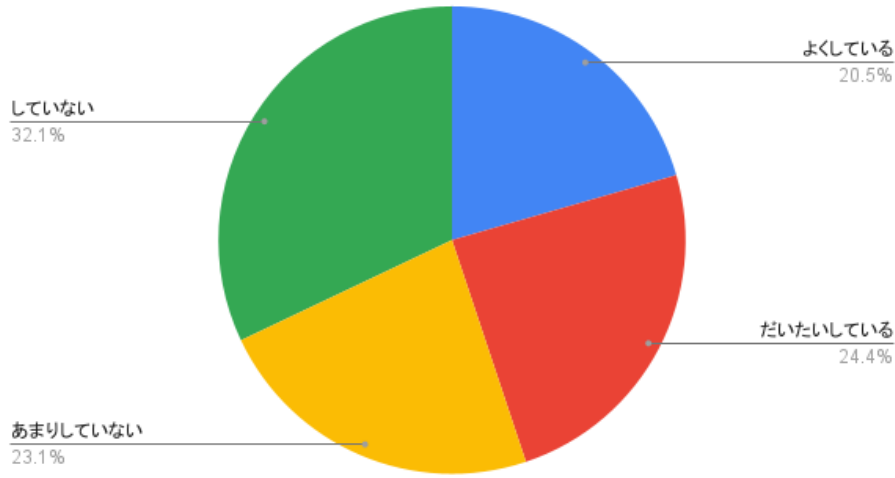
「1. お子さんは、ご家庭で勉強や生活面で「時間を守ること」を意識して生活していますか。」



- ・「時間を守る」においては、学校では集団で行動することが多く、時間を意識している児童が多いのですが、家庭では自分で意識して行動する機会は少なく、取り組むのが難しいと考えられます。
- ・時間を守ってその場にいるということだけにとどめず、その次の行動の見通しを持ち、自分で考えて動くことができるように取り組んでいきたいと考えています。ご家庭でも、予定を立てることの奨励など、見通しを持った行動ができるよう、声かけをお願いいたします。

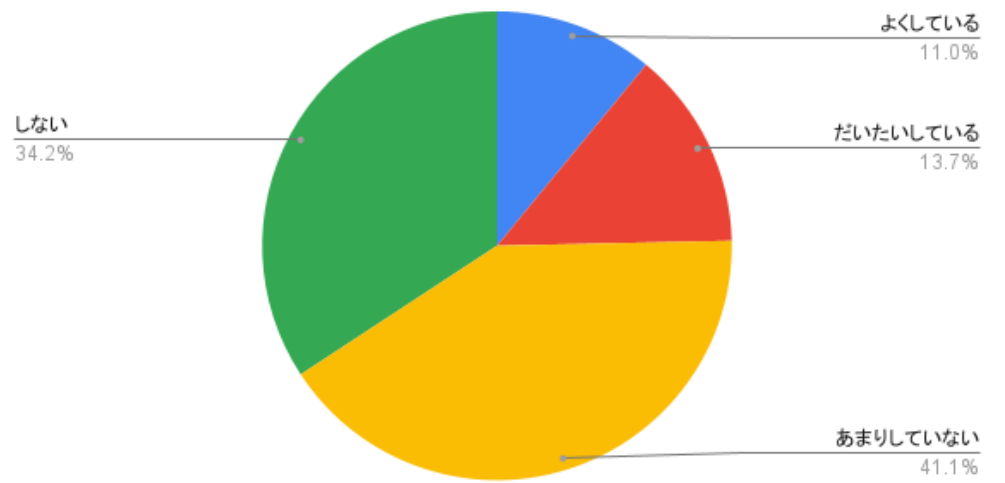
(児童回答)

「9. 家で読書【まんがやざっしの本以外】をしていますか。」



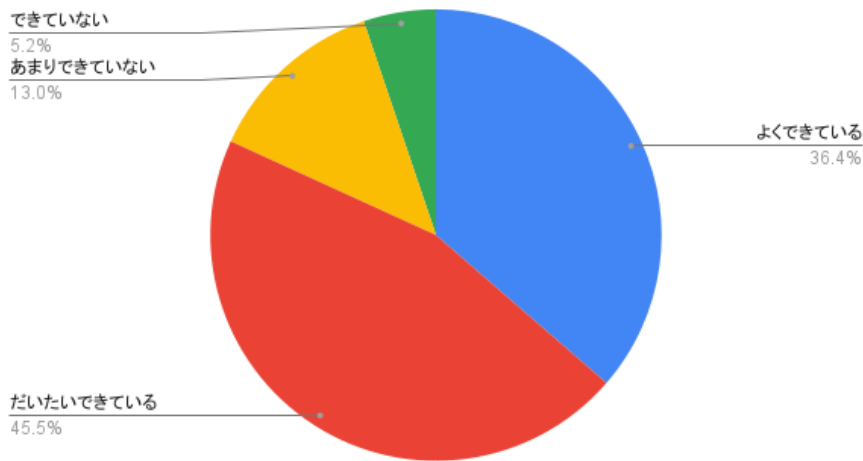
(保護者回答)

「9 お子さんは家庭で読書(漫画や雑誌以外)をどれくらいしていますか。」

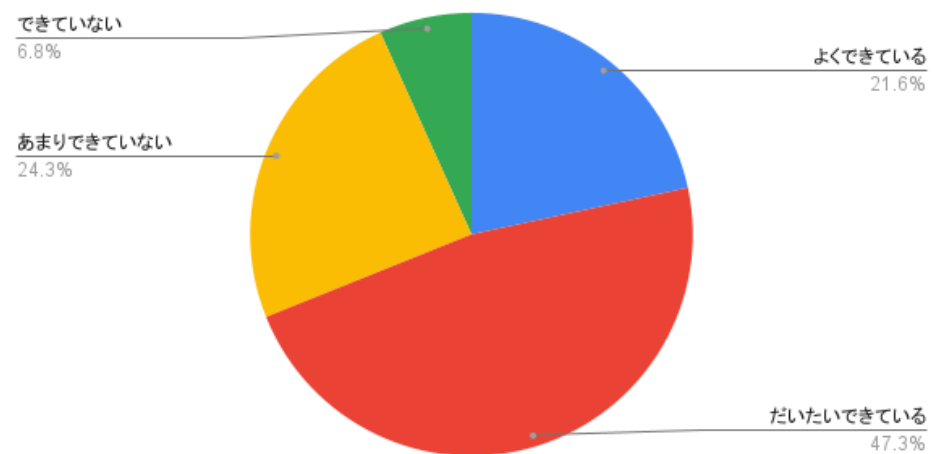


・例年、課題にあがっている「家庭読書」は、児童の回答も良好でなく、保護者の方の回答については更に低く現れていました。学校では、読書をする意義や読書へ興味を湧くような取組を継続し、いくらかの成果もあげつつありますので、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

「8. 家庭学習の時間「学年×10+10分」に、とりくめていますか。」



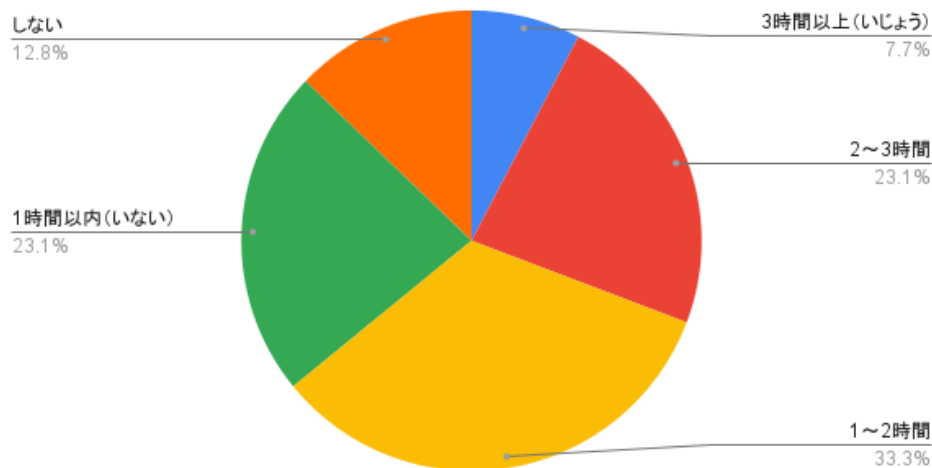
「8 お子さんは家での学習(宿題や自主勉強など)に進んで取り組んでいますか。(目安:「学年×10+10分」)」



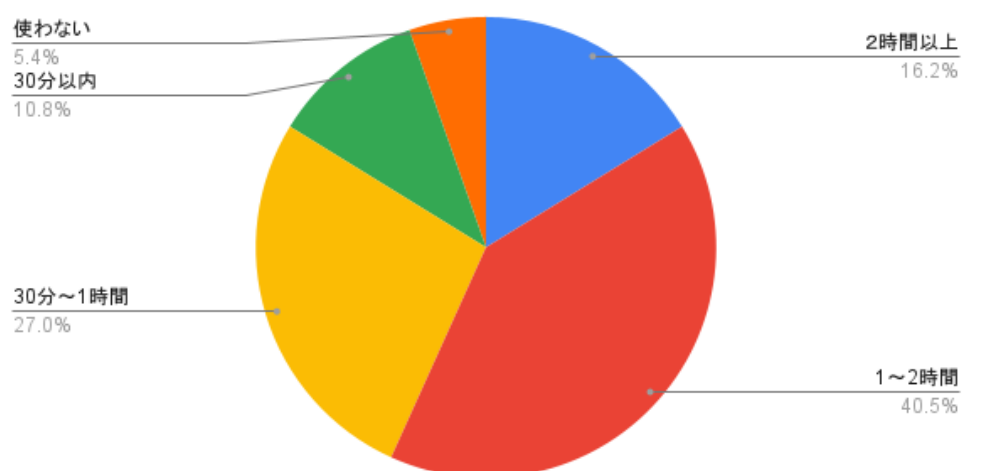
・家庭学習において、「取り組んでいる」と回答した児童が82%いるのに対し、保護者の方の回答は69%でした。これは、保護者が仕事等をされている間に児童が取り組んでいたり、もしくは、児童の家庭学習内容が保護者の望まれる内容ではなかったりしたためではないかと考えています。

・学校では、家庭学習に対する「取り組み方」「内容」「意義」のそれぞれについて、具体的な指導で支援していくよう心がけ、保護者が支援しやすいようにも考えていきます。

「10. 平日のゲーム機・スマホ・タブレット・パソコンなどについて、遊び【ゲーム、動画、ライン】には1日にどれくらい使っていますか。」

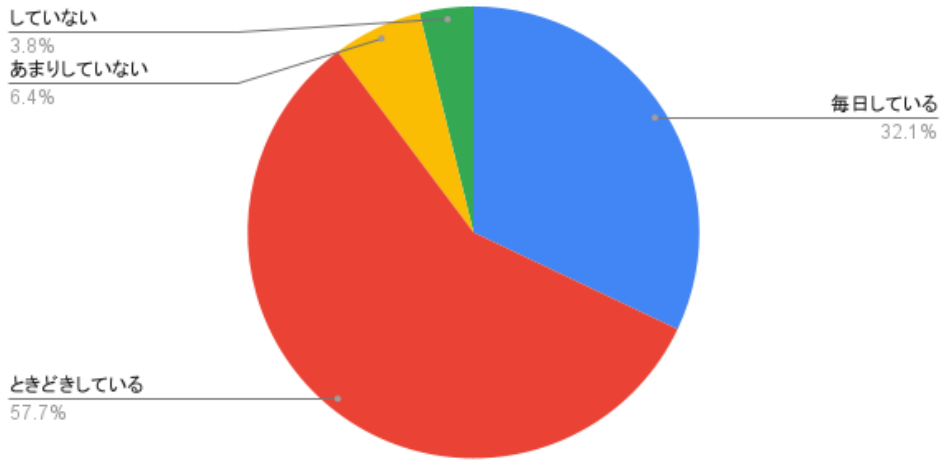


「10 平日のゲーム機、スマホ、タブレット、パソコンなどの利用時間について、遊び(ゲーム、動画、ライン等)には1日にどれくらい使って

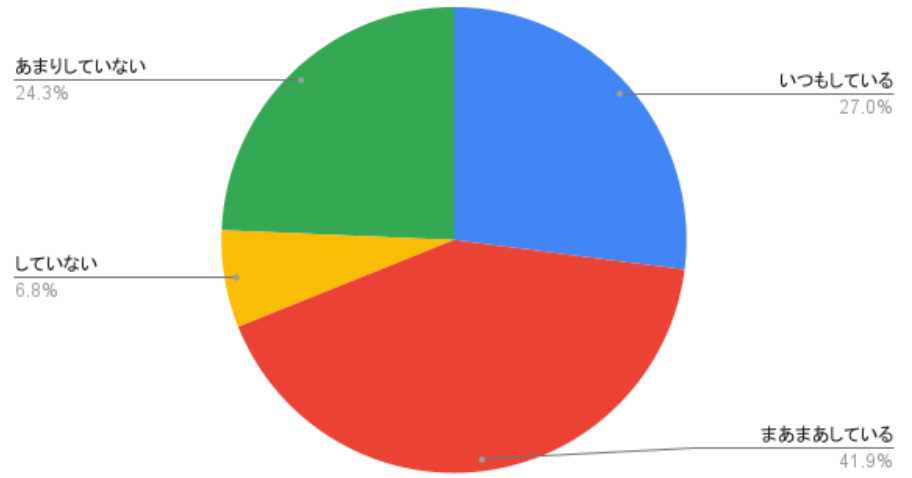


・「平日のゲーム、インターネット等の使用時間」については、「平日2時間以上している」との回答において、児童と保護者との意識差が15%あります。保護者が認識されている以上に、児童はメディアに接していると回答しているということです。また、近年の社会的状況から、使用時間だけでなく、情報モラルの育成についても引き続き取り組む必要があります。お子さんのメディアとの接し方については、ご家庭でも、確かであり、かつ、継続的な見守りが、是非とも必要です。

「15. 友だちや先生、おうちの人の手つだいをすすんでいますか。」



「14 お子さんは進んで家のお手伝いや仕事をしていますか。」



- ・「友だちや先生、おうちの人のお手伝い」では、学校においては、人のために役立つ行動を意識して行っています。ご家庭においては、習い事等もあり、お手伝いができにくいことですが、家族の一員として、年齢やお子さんの特性に合わせた役割を与え、習慣化させることが望ましいです。そうした際、「感謝」の言葉を入れていただくと、お子さんのやる気や自己有用感を育てることにつながっていくことでしょう。
- ・本年度は「元気大作戦」の中で、上記のような課題の解決に向け「自己調整力」をつけるために、4年生以上では「放課後時間割」と題して家庭学習やメディア、読書の時間を意識させ、「手伝い」も入れる取組を行いました。その結果、自ら計画を立てて1週間頑張っている児童も多くいましたが、習慣化するまでには至りませんでした。今後も定期的に行うことで、自分の生活を見直す機会になればと考えております。ご家庭でのご協力をお願いいたします。

☆「竹田のどんなところが好きですか」の問いには、以下のような回答がありました。

【学校】

- ・みんなとあいさつができたり、遊べたり、お話しできたりするところが好き
- ・みんな優しいところ
- ・協力しあい、仲良く元気なところ
- ・笑顔、助け合い
- ・友達がいること
- ・みんな思いやりがある
- ・親切で楽しく面白い

【地域】

- ・山や田んぼがたくさんあって静か（稲刈りができたから好き）
- ・生き物がたくさんいて、自然が多い（色々な動物や鳥などの鳴き声が聞こえる）
- ・「自然の宝庫の竹田地区」だと思う（もみじと桜がきれい）
- ・地域の人がやさしく声をかけてくれる ・気持ちの良いあいさつ
- ・地域みんなが優しい
- ・ポイ捨てやゴミが少ないところ
- ・学校の近くに駄菓子屋がある
- ・枝豆をくれる ・平和なところ ・全部好き

- ・学校では「友だちの良さ」を、また、地域においては「自然や人の良さ」を感じていることが分かりました。竹田地区の自然に恵まれ、人とのつながりや人々の優しさに支えられて子ども達は育っています。今後とも、声かけや温かいご支援をよろしく願いいたします。